

松田町第6次総合計画
後期まちづくりアクションプログラム
(素案)

2022年11月

まちの将来像『いのち"育み" 未来へ"ツナグ" 進化"つづける"故郷』

第1編 総論	1
第1章 まちづくりアクションプログラム策定の趣旨	2
1. まちづくりアクションプログラムの意義と役割	
2. まちづくりアクションプログラムの構成と期間	
第2章 まちづくり戦略プロジェクト	5
1. まちづくり戦略プロジェクトの位置づけ	
2. 4つのまちづくり戦略プロジェクト	
第2編 まちづくりアクションプログラム（部門別計画）	15
第1章 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち（健康・福祉）	17
1. 健康づくりと地域医療	
2. 地域福祉	
3. 社会保障	
4. 児童福祉	
5. 高齢者福祉	
6. 障害者福祉	
第2章 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち（教育・文化）	43
1. 幼児教育と学校教育	
2. 青少年健全育成	
3. 生涯学習	
4. 地域文化の創造	
5. スポーツ・レクリエーション	
第3章 賑わいと雇用を生み出し、働きがい育むまち（経済・産業）	67
1. 農林業の振興	
2. 商工業の振興	
3. 観光の振興	
4. 消費者の保護	
第4章 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち（暮らし・基盤）	85
1. 土地利用	
2. 新松田駅・松田駅周辺の整備	

3. 骨格的道路網（国道・県道・幹線町道）と生活道路
4. 公共交通
5. 住宅対策
6. ごみ処理対策
7. 水道事業
8. 下水道・生活排水施設整備

第5章 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち（自然・環境） 107

1. 自然環境の保全・活用
2. 河川・砂防・治山
3. 景観
4. 公園・緑地
5. 消防・救急
6. 防災対策
7. 防犯対策
8. 交通安全対策

第6章 みんなで協力し、みんなの力を育むまち（実現手段） 131

1. 地域コミュニティと自治の育成
2. オール松田で協働のまちづくり
3. 人権・男女共同参画・女性活躍
4. 行政経営
5. 財政運営
6. 広域行政・国際交流

第3編 地区別アクションプラン 153

第1章 松田地区アクションプラン 154

1. 松田地区の現状と課題
2. 松田地区のまちづくりの方向性と取組

第2章 寄地区アクションプラン 158

1. 寄地区の現状と課題
2. 寄地区のまちづくりの方向性と取組

第4編 計画の推進 163

第1章 進行管理の考え方 164

第2章 財政推計 2023年度予算の編成状況を踏まえ作成予定

第1編 総論

第1章 まちづくりアクションプログラム策定の趣旨

1. まちづくりアクションプログラムの意義と役割

(1) まちづくりアクションプログラムの意義

「松田町第6次総合計画」では、2019年度を初年度として2026年度を目標とした基本構想が策定され、4年間の実行計画を示す「まちづくりアクションプログラム」が策定されています。

このたび、前期4年間の計画期間が終了することに伴い、2023年度を初年度とした後期の「まちづくりアクションプログラム」を策定することになりました。

策定にあたって、町民アンケート調査や団体アンケート調査、地域の座談会、まつだ子どもカフェ等でいただいた町民の方々の意見を踏まえつつ、町総合計画審議会においてこれまでの施策・事業進捗の点検・評価を行い、その成果や今後を引き継がれるもの、新たに取組が求められる課題等について整理を行いました。

こうしたプロセスを経てまとめられた後期「まちづくりアクションプログラム」は、今後4年間の行政分野別の施策の方針、方向及び事業等を体系的に整理したもので、今後のまちづくりを進める「計画行政」の基本となります。

(2) 前期4年間の動向

2018年から2022年の人口動向をみると、4年間で498人が減少しています。2020年までは将来目標人口（基本構想）を上回る人口で推移していましたが、2021年と2022年で大幅に減少し2022年には10,477人となっています。このまま推移すると、2026年には約10,000人まで減少することが想定され、基本構想で掲げる将来目標人口を下回ることが懸念されます。

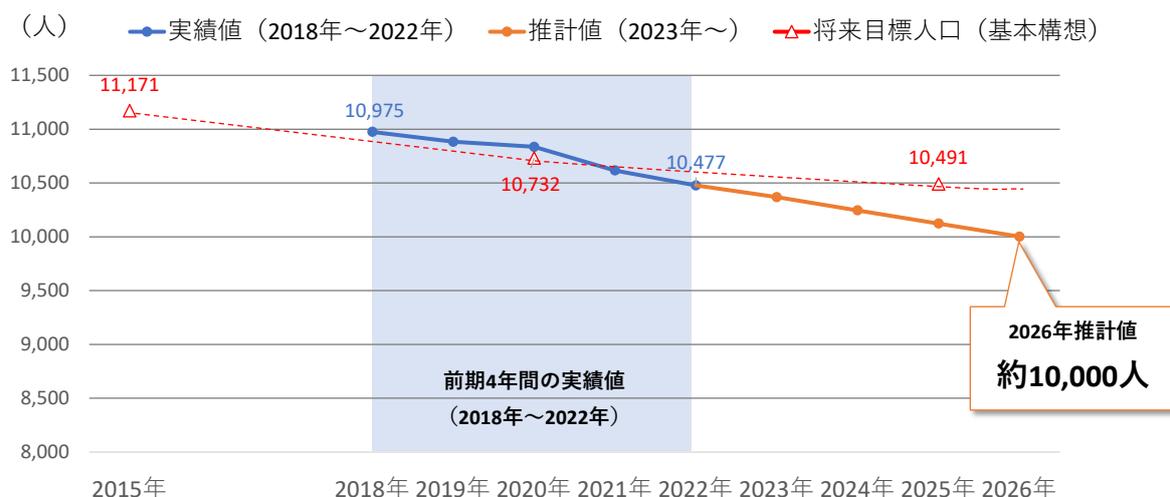
特に、2019年から2021年の社会移動数をみると、2020年と2021年で転出超過になっていることが要因として考えられます。

また、本町では進学や就職を機に町を離れる若い世代が多く、高齢者だけの世帯が増加傾向にあったところ、新型コロナウイルス感染症の影響により県をまたぐ移動の自粛が求められたこともあり、離れて暮らす親子が簡単に会うこともかなわない状況となりました。

こうしたなか、人口の減少傾向が続く中で、家族が普通に会えること、高齢者が子や孫たちと一緒に、または近くに住むことで全ての世代が安心して暮らせるまちづくりがこれまで以上に重要なことから、子どもたちが成長しても松田町に住み続けたい、あるいは進学や就職などで一旦町外に出たとしても故郷・松田町に戻って子育てをしたいと思えるよう、子どもの目線にたったチルドレンファーストのまちづくりに取り組む必要があります。

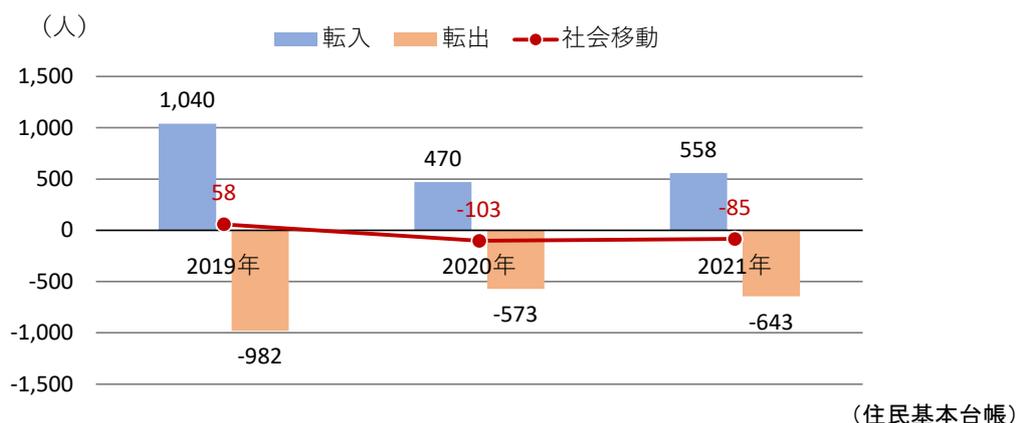
そのため、後期まちづくりアクションプログラムにおいては、チルドレンファースト推進事業を優先的に取り組みます。

■2018年～2022年の実績を踏まえた推計値と将来目標人口



※推計方法：2018年～2022年（各年10月）の実績値を踏まえ、トレンド推計（指数関数）により算出

■2019年～2021年の社会移動数



(3) まちづくりアクションプログラムの役割

「まちづくりアクションプログラム」を策定するにあたっては、基本構想に掲げるまちの将来像「いのち“育み” 未来へ“ツナグ” 進化“つづける”故郷」を実現するために、前期4年間の動向を踏まえ、後期4年間の計画期間（2023年度～2026年度）の中で特に取り組むべき事業や基本構想の達成のための重点事業を明らかにすることを目的とします。

また、本町は2021年5月、地方創生SDGsの達成に向け、優れたSDGsの取り組みを提案する地方自治体である「SDGs未来都市」に選定され、「SDGs未来都市計画」のもとで「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち 松田」の実現に向け、SDGsの取組を推進していることから、「まちづくり戦略プロジェクト」や「部門別計画」でSDGsとの関わりを明記するとともに、松田町自治基本条例に基づくまちづくりを推進するために、施策ごとに協働の取組を整理しています。

2. まちづくりアクションプログラムの構成と期間

(1) まちづくりアクションプログラムの構成

「まちづくりアクションプログラム」は、第1編「総論」、第2編「まちづくりアクションプログラム（部門別計画）」、第3編「地区別アクションプラン」、第4編「計画の推進」から構成されています。

【第1編 総論】

第1編では、基本構想におけるまちの将来像やまちづくりのテーマを踏まえ、「まちづくり戦略プロジェクト」と「部門別計画」の位置づけを整理し、特に、限られた計画期間において取り組むべき重点事業として位置づける4つの「まちづくり戦略プロジェクト」を示しています。

【第2編 まちづくりアクションプログラム（部門別計画）】

第2編では、行政が取り組むべき部門別の計画として基本構想の施策の大綱と基本計画の基本目標を踏まえ、

1. 「誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち（健康・福祉）」
2. 「質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち（教育・文化）」
3. 「賑わいと雇用を生み出し、働きがいを育むまち（経済・産業）」
4. 「持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち（暮らし・基盤）」
5. 「自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち（自然・環境）」
6. 「みんなで協力し、みんなの力を育むまち（実現手段）」

の6つの柱ごとに、各種施策の「基本目標」、「現状と課題」、「目標指標」、「協働の取組」、「実行計画の内容」について、それぞれ明らかにしています。

【第3編 地区別アクションプラン】

第3編では、松田地区と寄地区の地区別に「現状と課題」、「まちづくりの方向性と取組」について明らかにしています。

【第4編 計画の推進】

第4編では、PDCA サイクルによる計画の進行管理や行政の役割、町民の関わりについて示すとともに、計画推進の基盤となる財政推計について明らかにしています。

(2) 計画期間と計画内容等

【計画期間】

後期まちづくりアクションプログラムの計画期間は、2023年度から2026年度までの4年間とします。

【計画内容】

「基本目標」、「現状と課題」、「目標指標」、「協働の取組」、「実行計画の内容」を整理して、取り組むべき内容を明らかにしています。

【まちづくり戦略プロジェクト】

部門横断的に取り組む4つのプロジェクトについて、2026年度までの4年間で取り組んでいくべき事業を追加するほか、チルドレンファーストのまちづくりとして優先的に取り組む事業も掲載しています。

第2章 まちづくり戦略プロジェクト

1. まちづくり戦略プロジェクトの位置づけ

まちづくり戦略プロジェクトは、まちの将来像の実現に向けて、部門横断的に取り組むべきまちづくり戦略をプロジェクトとして位置づけ、前期に引き続き 2026 年度までの4年間で重点的に取り組む事業を位置づけるものです。3つのまちづくりのテーマから、4つの「まちづくり戦略プロジェクト」を設定し、プロジェクトごとに「プロジェクトの方向性」、「成果目標（松田町版 SDG s）」、「重点的な取組」を示しています。また、まちづくり戦略プロジェクトと連携しチルドレンファースト推進事業によるまちづくりを推進します。

■ 4つのまちづくり戦略プロジェクトのイメージ



2. 4つのまちづくり戦略プロジェクト

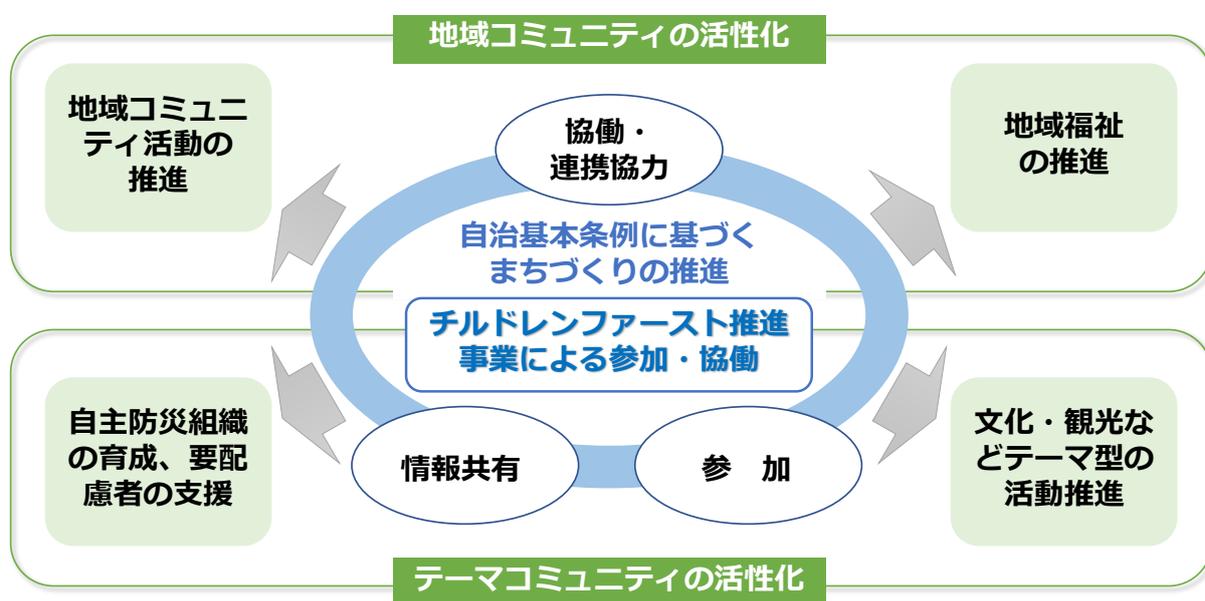
戦略①：コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト

(1) プロジェクトの方向性

前期計画の期間では、コロナ禍における活動自粛の影響もあり、住民同士のコミュニケーションが著しく制限され、協働のまちづくり活動も停滞を余儀なくされました。

このため、松田町自治基本条例の「情報共有」、「参加」、「協働・連携協力」の3つのまちづくりの基本原則をもとに、町民とともにコミュニティの活性化に向けた具体的な取組をより一層推進する必要があります。

■「コミュニティをさらに活性化する仕組みづくりプロジェクト」のイメージ



(2) 成果目標（松田町版 SDGs）



目標指標	2022年	2026年
「地域コミュニティと自治の育成」に関する満足度※	37.8%	50%
「オール松田で協働のまちづくり」に関する満足度※	25.3%	40%

※町民アンケート結果より

(3) 重点的な取組

- ◎自治基本条例に基づくまちづくりの推進（実現手段）
- ◎情報共有の推進（実現手段）
- ◎参加、協働・連携協力の推進（実現手段）
- ◎地域福祉計画の策定・推進（健康・福祉）
- ◎防災訓練の実施（自然・環境）
- ◎自主防災組織の育成支援（自然・環境）
- ⑨地域学校協働活動事業（教育・文化）
- ⑨要配慮者の災害時避難の支援（自然・環境）
- ・自治会との情報共有・ペーパーレス化の推進（実現手段）
- ・地域コミュニティ活動交付金制度の活用（実現手段）
- ・地域集会施設等を利用した福祉活動等の展開（実現手段）
- ・活動団体の育成・支援（実現手段）
- ・地域の茶の間活動の推進（健康・福祉）
- ・地域防犯組織の育成・支援（自然・環境）
- ・防犯パトロールの定期的な実施（自然・環境）
- ・ボランティア等指導者の発掘、サークル団体等育成・支援（教育・文化）
- ・文化財維持管理の補助、啓発（教育・文化）
- ・社会教育団体の育成支援（教育・文化）
- ・文化芸術活動の支援（教育・文化）

◎ = 拡充事業 ⑨ = 新規事業

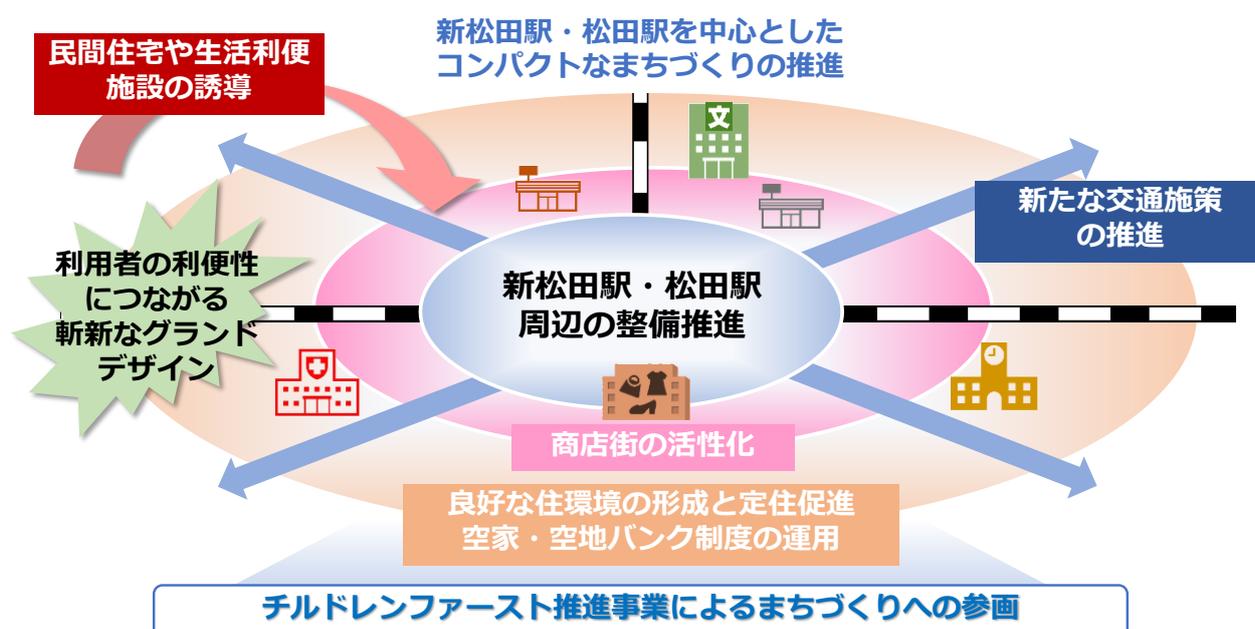
戦略②：新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト

(1) プロジェクトの方向性

松田町の魅力をさらに高めるためには、新松田駅・松田駅周辺のポテンシャルを活用し、駅周辺の整備を重点的に取り組むとともに、商店街の活性化や住環境の形成を図り、地域の活性化や定住促進につながる取組が求められます。

本プロジェクトは、新松田駅・松田駅を中心にコンパクトで住みよいまちづくりを推進するものとして位置づけます。

■「新松田駅・松田駅周辺のまちづくりプロジェクト」のイメージ



(2) 成果目標（松田町版 SDG s）



目標指標	2022年	2026年
「松田町は住みよい」と思う町民の割合※	69.4%	75%
2023年から2026年の社会移動数	△85人	0人
「新松田駅・松田駅周辺の整備」に関する満足度※	17.0%	25%
商工業の販売・出荷額	156億円	160億円

※町民アンケート結果より

(3) 重点的な取組

- ◎新松田駅北口周辺整備の促進（暮らし・基盤）
- ◎効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進（暮らし・基盤）
- ⑨新松田駅南口駅周辺道路の整備（暮らし・基盤）
- ⑨空家・空地バンク制度の運用及び相談業務（暮らし・基盤）
- ⑨スマートハウス普及の推進（自然・環境）
- ⑨官民連携の推進（実現手段）
 - ・新松田駅南口駅前広場等整備（暮らし・基盤）
 - ・駅周辺整備計画による歩道や憩いの場の整備（暮らし・基盤）
 - ・生活環境を向上させる歩行空間の確保（暮らし・基盤）
 - ・新松田駅前等の基盤整備事業に伴う商店街の活性化についての支援（経済・産業）
 - ・路線バスの運行維持対策の推進（暮らし・基盤）
 - ・良好な住宅地の整備・促進（暮らし・基盤）
 - ・町有地等の利活用の促進（暮らし・基盤）
 - ・民間住宅の建設促進、良好な住宅宅地開発の誘導（暮らし・基盤）
 - ・おもてなし・お休み処「つむGO」の利活用（経済・産業）
 - ・足柄上商工会、地元商店街と連携した消費拡大の促進（経済・産業）
 - ・スーパー及びコンビニエンスストア誘致（経済・産業）
 - ・店舗リノベーション支援補助制度の活用促進（経済・産業）

◎ = 拡充事業 ⑨ = 新規事業

戦略③：地域資源のブランド化プロジェクト

(1) プロジェクトの方向性

コロナ禍における外出制限やイベントの中止等の影響を受け、松田町への観光客数は大幅に減少しました。今後、ウィズコロナ社会において交流人口を回復し、松田町の強みを未来につなぐために、豊かな自然環境や農林業などの地域資源を活用したまちづくりを重点的に進める必要があります。

本プロジェクトは、松田山や地域の文化・伝統芸能などの自然・歴史資源、農産物や木質バイオマス資源などの農林業資源を活かしブランド化を図ることで、文化継承や観光振興などの地域の活性化に寄与するものとして位置づけます。

■「地域資源のブランド化プロジェクト」のイメージ



(2) 成果目標（松田町版 SDG s）



目標指標	2022年	2026年
観光客数	420千人	768千人
「観光の振興」に関する満足度 [※]	29.0%	40%
松田ブランド認定品数	7品	10品
桜まつりの個人消費推計額	1億2,853万円	2億1,000万円

※町民アンケート結果より

(3) 重点的な取組

- ◎ 松田山の保全の推進（経済・産業）
 - ◎ 松田山の利活用の推進（経済・産業）
 - ◎ 西平畑公園及び松田山ハーブガーデン活用促進（自然・環境）
 - ◎ パークゴルフ場活用促進（自然・環境）
 - ◎ 農泊や体験事業の推進（経済・産業）
 - ◎ 新たな観光資源の創造・発掘・活用（経済・産業）
 - ◎ 森林資源の活用（経済・産業）
 - ⑨ 民間の観光事業者との連携（経済・産業）
 - ⑨ スポーツツーリズムの推進（経済・産業）
 - ⑨ ズビエ処理加工施設の管理・運営（経済・産業）
 - ⑨ 町内外の施設での観光情報の発信（経済・産業）
 - ・ 寄七つ星ドッグラン&カフェ（ふれあい農林体験施設）の活用推進（経済・産業）
 - ・ 松田ブランド認定事業の推進（経済・産業）
 - ・ 松田の自然・歴史や文化を活かした事業の推進（教育・文化）
 - ・ 木質バイオマス事業化の推進（経済・産業）
 - ・ 寄口ウバイ園の活用推進（経済・産業）
 - ・ 農産物加工品（特産品）の開発、販売促進（経済・産業）
 - ・ コスモス館等での地元農産物の消費拡大の支援（経済・産業）
 - ・ 地域に伝わる無形の伝統芸能の保存・伝承の支援（教育・文化）
- ◎ = 拡充事業 ⑨ = 新規事業

戦略④：次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト

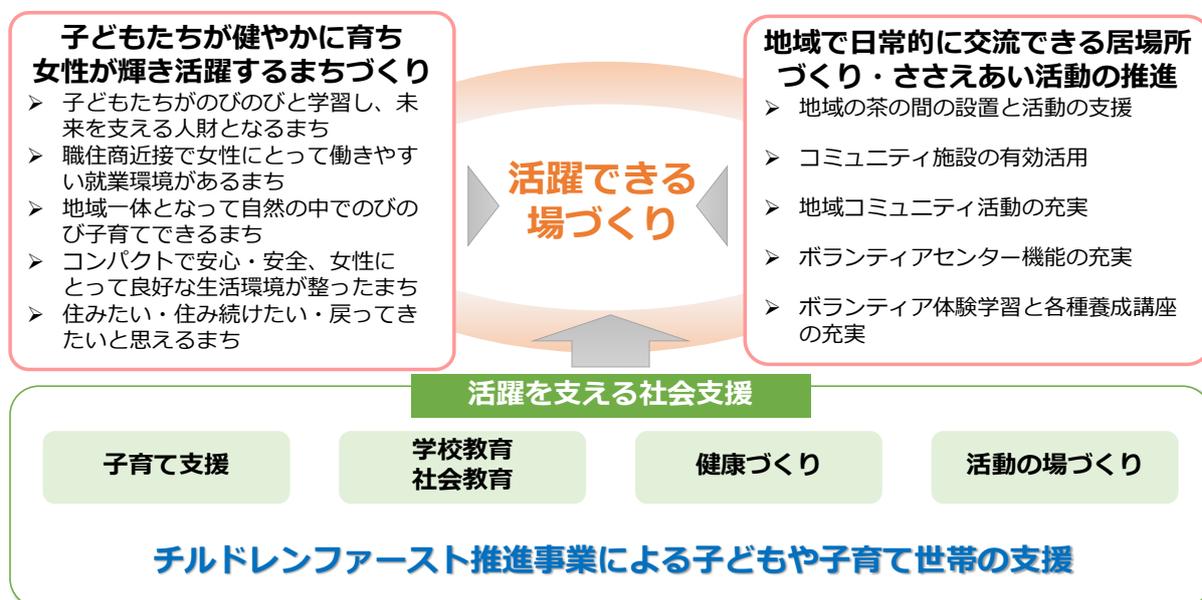
(1) プロジェクトの方向性

協働のまちづくりを推進するにあたって、地域コミュニティの形成やまちづくり活動の場づくりが必要ですが、コロナ禍における活動の自粛により地域のコミュニティで集まって活動をする場が減少しています。

このような状況下においても、町民一人ひとりが松田町に愛着をもち、活躍できる「人づくり」に取り組み、松田町への定住につなげていくことが必要です。

本プロジェクトは、特に次代の子どもたちや女性、高齢者に着目し、多様な分野・主体と連携しながら、子どもたちが健やかに育ち、女性が輝き活躍するまちづくりと高齢者等が生きがいをもって日常的に交流できる居場所づくりに取り組むものとして位置づけます。

■「次代の育成・女性活躍・高齢者活躍の場づくりプロジェクト」のイメージ



(2) 成果目標（松田町版 SDG s）



目標指標	2022年	2026年
「児童福祉」に関する満足度※	36.3%	40%
「幼児教育と学校教育」に関する満足度※	35.5%	40%
女性による創業・起業件数（年間）	0件	1件
合計特殊出生率	1.15	1.32
地域の茶の間の開催数	119回	240回

※町民アンケート結果より

(3) 重点的な取組

- ◎ALT の配置による英語教育の充実（教育・文化）
- ◎地域福祉計画の策定・推進（健康・福祉）
- ◎子育て世帯支援事業（健康・福祉）
- ◎子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実（健康・福祉）
- ㊦人財バンク制度の推進（教育・文化）
- ㊦松田中学校改修事業（教育・文化）
- ㊦寄小学校改修事業（教育・文化）
- ㊦松田幼稚園改修事業（教育・文化）
- ㊦教育施設環境配慮事業（教育・文化）
- ㊦ICT を活用した保、幼、小・中学校の連携教育の推進（教育・文化）
- ㊦チルドレンファースト事業の管理・推進（実現手段）
 - ・延長保育や乳児保育の充実（健康・福祉）
 - ・シニアクラブ松田の活動等自主活動への支援（健康・福祉）
 - ・シルバー人材センターへの支援（健康・福祉）
 - ・男女が対等な立場で社会に参画できる環境の整備（実現手段）
 - ・審議会における女性の登用促進（実現手段）
 - ・女性が輝き活躍できるまちづくりの推進（実現手段）
 - ・健康増進計画等に基づく健康づくり事業の展開（健康・福祉）
 - ・地域の茶の間活動の推進（健康・福祉）
 - ・ボランティア等指導者の発掘、サークル団体等育成・支援（教育・文化）
 - ・生涯学習講座・教室等の充実（教育・文化）
 - ・講座等による地域の文化・歴史学習等の実施（教育・文化）

◎ = 拡充事業 ㊦ = 新規事業

“チルドレンファースト推進事業”と連携したまちづくりの推進

戦略プロジェクト推進にあたっては、コロナ禍においても家族と一緒に安心して暮らし、さらには子どもが成長しても松田町に住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを目指し、子どもの目線での「チルドレンファースト」と連携したまちづくりに取り組みます。

■「チルドレンファースト推進事業」の主な取組

- ◎子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実（健康・福祉）
- ◎子育て世帯支援事業（健康・福祉）
- ◎育児相談・健康教育の充実（健康・福祉）
- ◎コミュニティスクールの導入（教育・文化）
- ◎ICT 機器を活用した学校交流事業（教育・文化）
- ◎学習支援・介助員配置事業（教育・文化）
- ◎ALT の配置による英語教育の充実（教育・文化）
- ◎スポーツツーリズムの推進（経済・産業）
- ◎未熟児・乳幼児家庭全戸訪問等の訪問指導事業の強化（健康・福祉）
- ◎公園・児童遊園地等の遊具整備・維持管理（自然・環境）
- ◎西平畑公園及び松田山ハーブガーデン活用促進（自然・環境）
- ◎新松田駅北口周辺整備の促進（暮らし・基盤）
- ◎効果的な交通施策の推進と新たな交通施策の推進（暮らし・基盤）
- 新 児童福祉と母子保健の一体的な提供体制推進（健康・福祉）
- 新 情報提供のデジタル化（健康・福祉）
- 新 ICT を活用した保、幼、小・中学校の連携教育の推進（教育・文化）
- 新 松田中学校改修事業／寄小学校改修事業／松田幼稚園改修事業／教育施設環境配慮事業（教育・文化）
- 新 新松田駅南口駅周辺道路の整備（暮らし・基盤）
 - ・新松田駅南口駅前広場等整備（暮らし・基盤）
 - ・子どもの館及び自然館の利用促進（自然・環境）
 - ・住宅取得促進事業の推進及び新制度の研究・実行・周知（暮らし・基盤）
 - ・路線バスの運行維持対策の推進（暮らし・基盤）
 - ・町有地等の利活用の促進（暮らし・基盤）
 - ・特産品開発事業補助制度の活用促進（経済・産業）
 - ・保育施設の整備・推進（健康・福祉）
 - ・延長保育や乳児保育の充実（健康・福祉）
 - ・児童手当の支給（健康・福祉）
 - ・小児医療費の無償化・支援対象拡大の検討（健康・福祉）
 - ・ひとり親家庭等の医療費助成（健康・福祉）
 - ・学童保育運営事業（健康・福祉）
 - ・児童家庭相談援助活動の推進（健康・福祉）
 - ・ICT 教育の推進（教育・文化）
 - ・国際交流事業の推進（実現手段）

◎ = 拡充事業 新 = 新規事業